

5/25
国際反戦争の一環としての529

全日学生もネスト統一行動

米軍のカンボジア侵略により、ベトナム戦争は、ついにインドシナ半島に広がった。しかし、この戦争拡大は、戦後の帝国主義崩壊を、特にアジア情勢の大きな転換点の一つの表れであろう。それは、経済面にある、戦後の米帝世界侵略のなめとしてあったマル中心経済の崩壊としての、2・3年来のマル危機。その解決のためにというに、半世紀をかけた、カンボジア戦争の帝国主義崩壊の協力も、かつくもマル経済体制維持のためのみで、決して、その崩壊力程を止めがいていない。さらに、これにハクシヤをかけるものとして、政治、軍事面にある、彼ら米帝の常軌を破ったベトナム戦争の敗北であろう。長期化するに従い、あの南ベトナム民族解放戦線の革命的戦いの前に、増々、敗北の色が濃くなり、また、日露的な反米Mの高揚による、公然とした全人民的日国家権力への挑戦。これに対する、米帝のベトナムからの撤兵を含む「フロンティア・ワトリン」による露國的民主ホースの公表。また、中絶返還による安保体制（日帝—米帝）や、ベトナムのベトナム化政策、タイ、南朝鮮との軍事同盟強化による、米帝中心の直接アジア支配から、間接的、日帝中心の反共アジアスロツクによる支配への移行。しかし、現在、さらに革命的なベトナムに於ける南ベトナム民族解放戦線、ラオスに於けるパトラオ、カンボジアに於けるカンボジア戦線の戦いの前に、このような、露國的解決は不可能となり、あの、シヤール平定人の、そして今、カンボジアへの大々的な米帝の侵略戦線拡大があるであろう。露者、軍事政治に於ける露的的局面に於て、特にその表面化の著しいアジア情勢の中で露化された「アジア会議」は、日帝を中心とした、新なる反露スロツクによる、この局面打開のあえぎの第一歩としてあるであろう。現在、日本帝国主義は、そのアジア侵略、内外に於て露化と進行しつつある。中絶返還による、自民党30議席の保守案、八幡、軍台併等による高度独立体制、3次防衛4次防衛と自民隊の帝国主義軍縮化、大学、高校等の近代化合理化など、国内に於ける全面的改変。また、イエロー・マンキとしてアジア各国への露者侵略から、「アジア会議」に於て、自らの政治的ハナエニを賣く事により自らの政治的地位をアジアに於て確立しつつある。

さらに、このように、日帝は、世界的な露本主義の露的的局面に於て、自らの野望を満足せんがために、国内の全面的な露化を行っている。我々は、日帝のこのような、再編やアジア侵略を許してはならない。この全面的露化と露者なくしては、我々は、日帝のアジア侵略に加担するものではないだろう。これを斗いぬいてのみ、アジアに於ける民族解放と、しなくては、露反戦争と、真に連帯をきこうであろう。

王市大の学生諸君、安保中絶等々に露集し、5・29をきめよう。

5/25
露集料集(集)